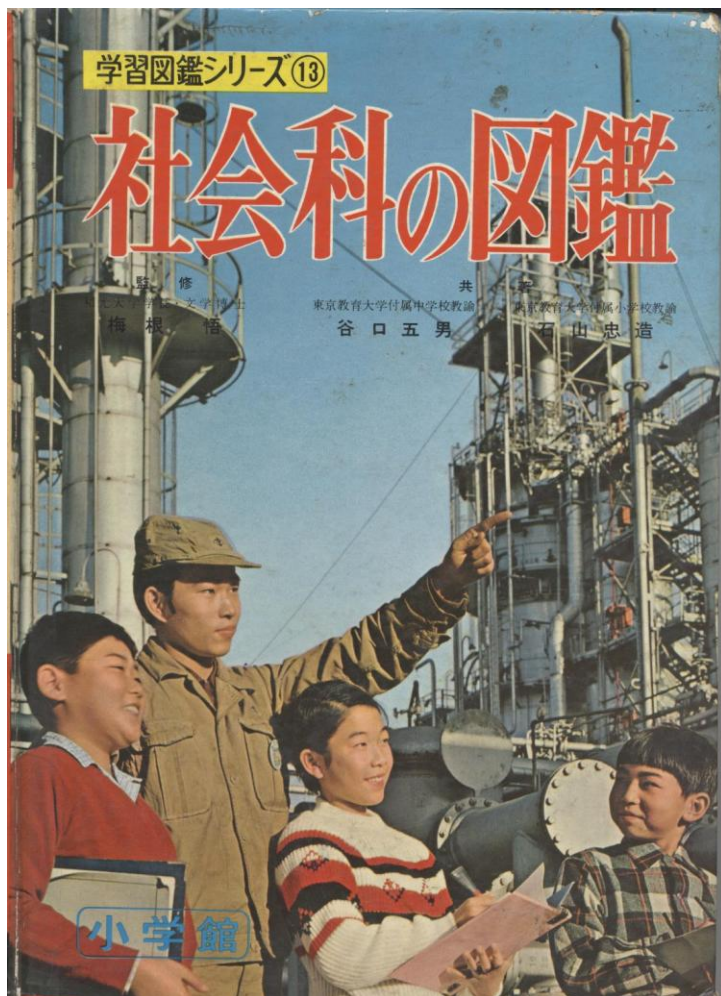


# 日本再生！ 総合特区～最初の一歩～



2010年10月23日(土)  
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム

# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑



<参考掲載資料>

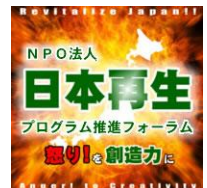
小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



- これが、藤原直哉の実家にあった、社会科の図鑑です。  
私が小学校2年生だった昭和43年に購入したものです。初版は昭和33年です。  
ちょうど**高度経済成長の頃の日本**の姿がよく表現されています。  
この図鑑のなかのいくつかのページを見ながら考えていきます。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





# 未来の都市

＜参考掲載資料＞

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
 日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：未来の都市

- これが今から**40年前に書かれた「未来の都市」**です。  
なるほど、こんな感じになりました。  
すばらしい想像力と言ってもよいですが、実際には、  
40年前から具体的にこうしようという計画があり、技術の見とおしも、  
大体ついていたのです。  
だから、大体そうなったのです。

**国民が総意として持つビジョンの力**のすごさを実感します。

<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)  
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- これは、原始時代から昭和の高度成長の頃までの、日本のくらしの歴史です。
- では、今の時代をひとつの絵にしたらどうなるでしょう？
- 次に、30年後の日本をひとつの絵にしたらどうなるでしょう？

<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～

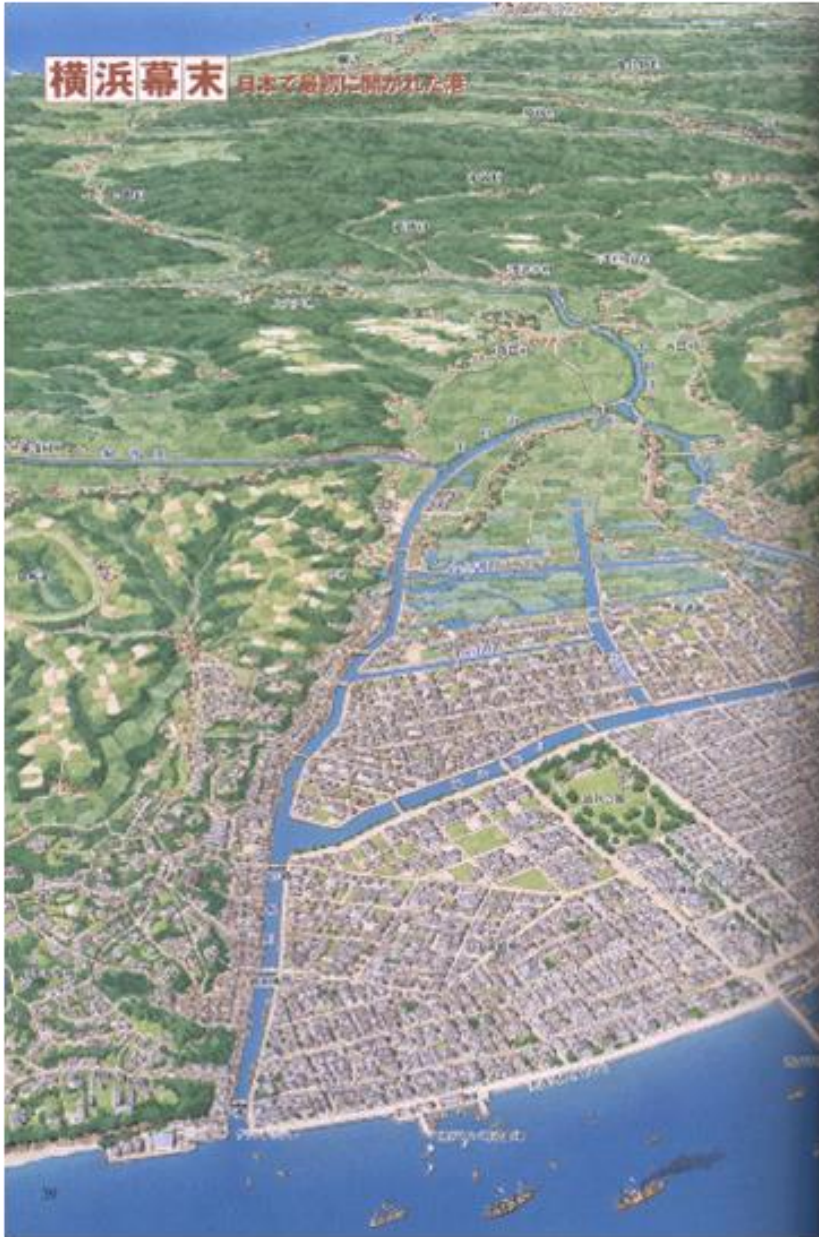


# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- 物質文明は極限まで行きついた。
- 物質の極限、カネをカネで買う。しかもそこに人は介在する必要がない。
- コンピュータが自動的にカネを売買してくれる。
- 極限まで行きついたら、次は**選択の時代**である。
- 歴史の**発展段階が問題**なのではない。
- 自らの理念に基づいて、**どれを選択するか、どう編集するか**が問題。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一歩～

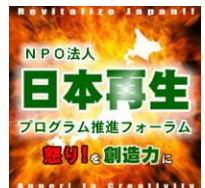


# 日本再生の総合特区を考える

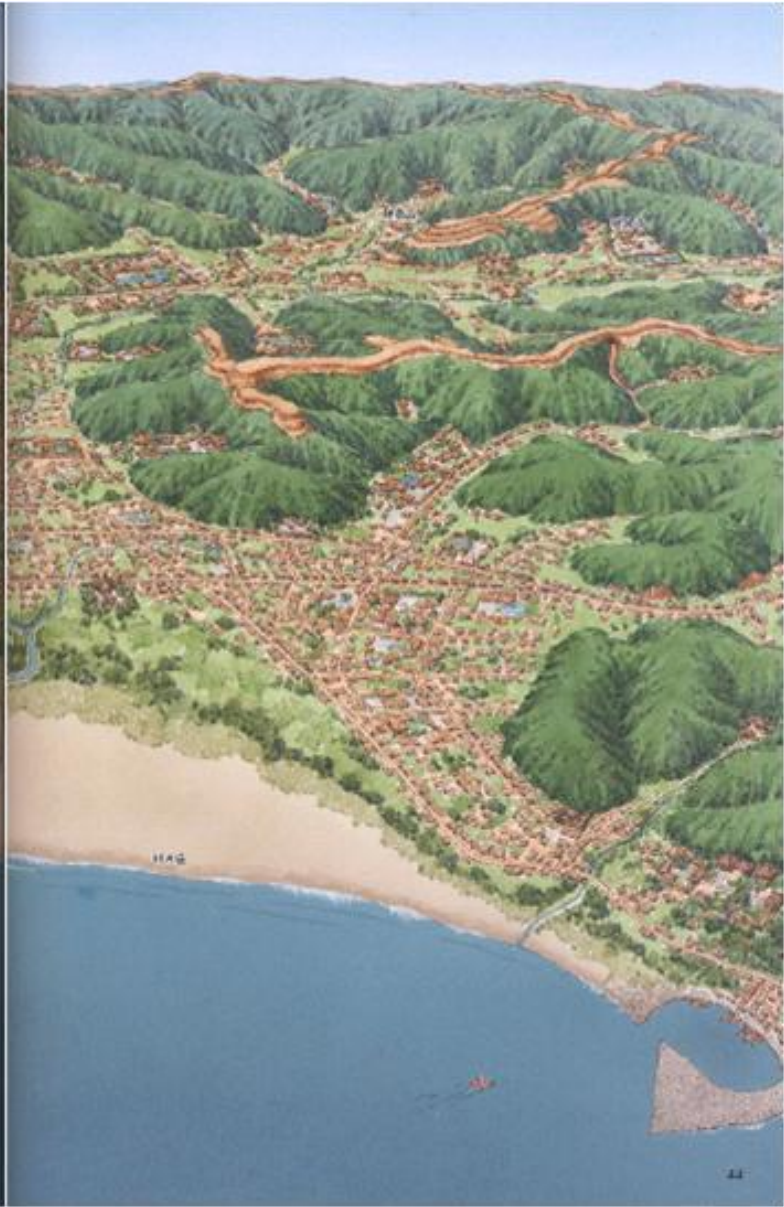
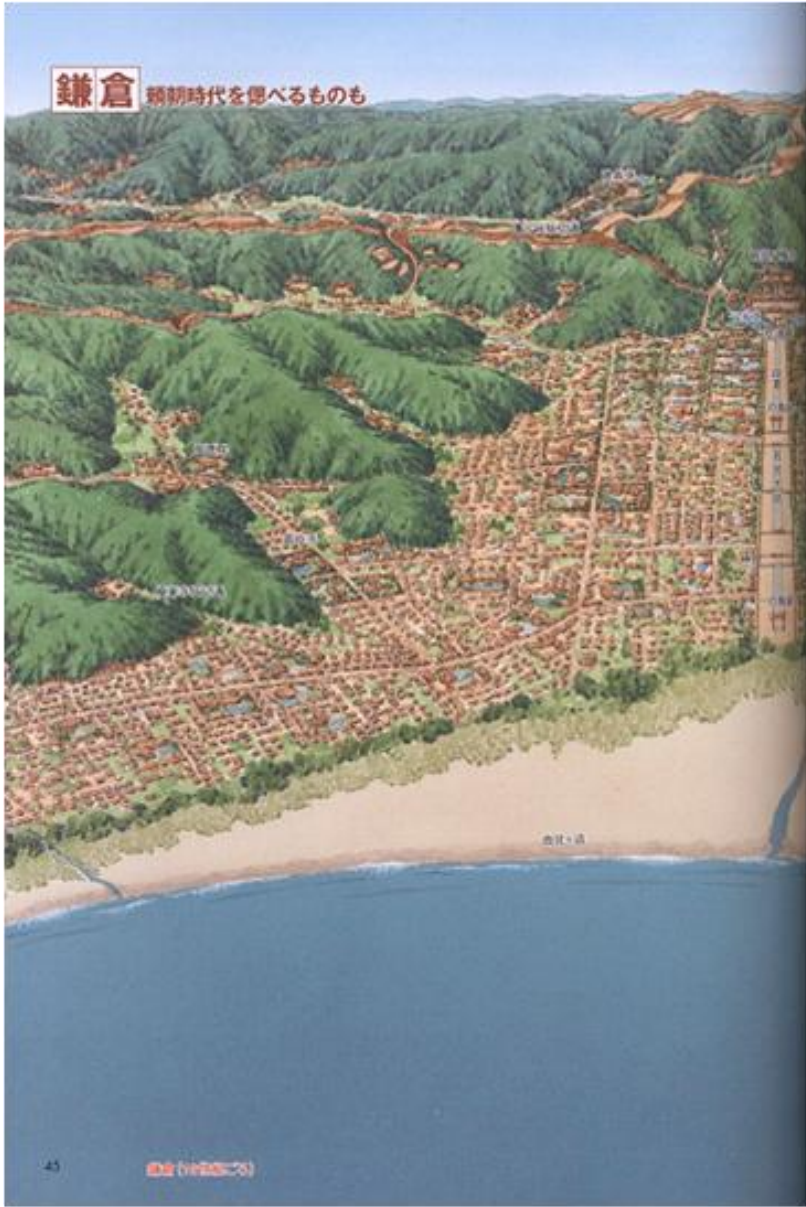
大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳  
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

## 『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



鎌倉 頼朝時代を偲べるものも



NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一歩～



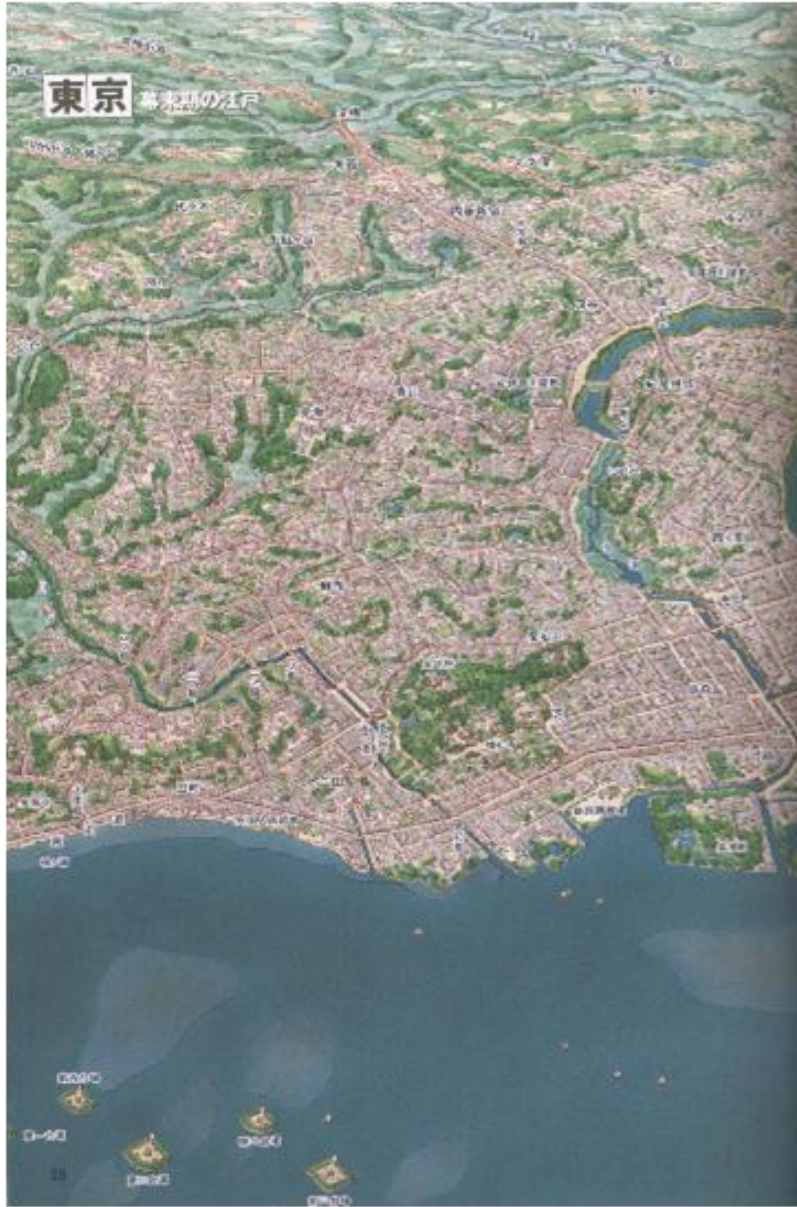
# 日本再生の総合特区を考える

大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳  
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

## 『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初的一步～



# 日本再生の総合特区を考える

大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳  
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

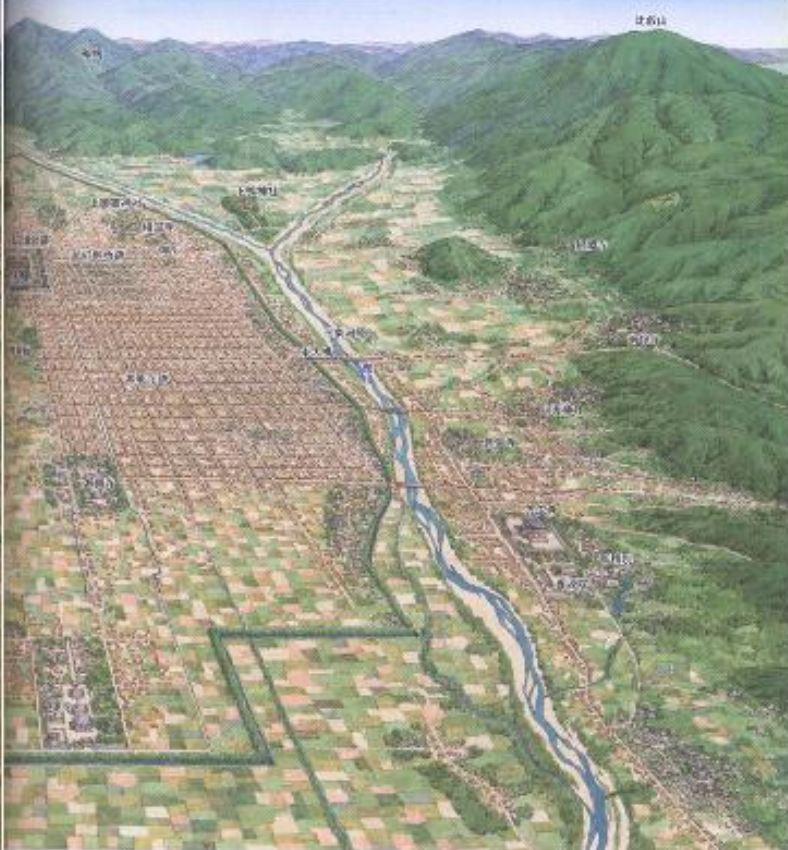
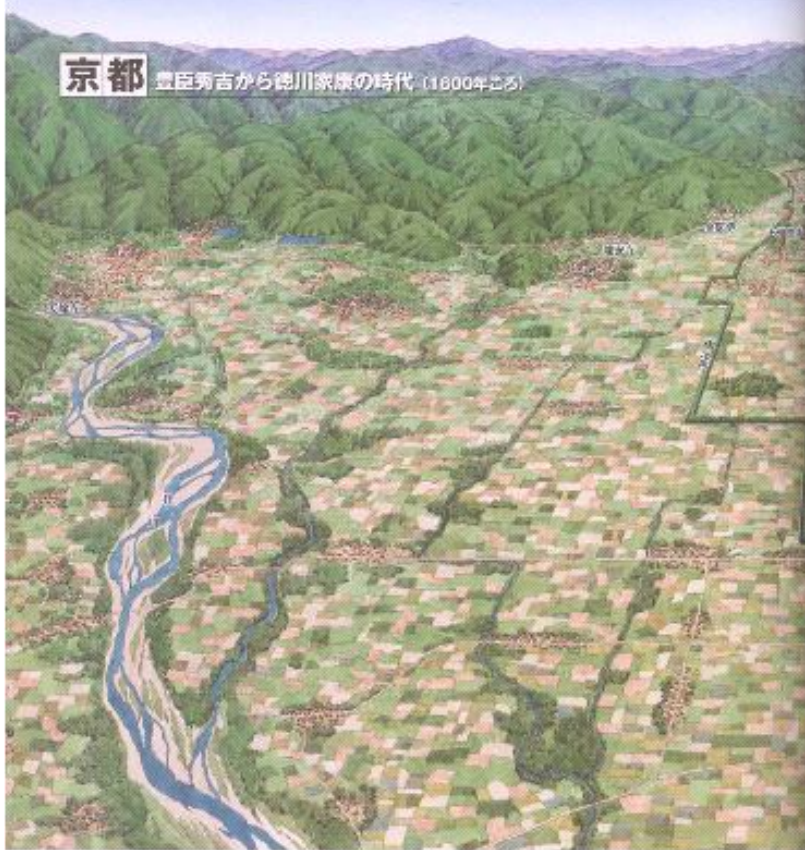
## 『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 京都

豊臣秀吉から徳川家康の時代（1600年ごろ）



このころは多量な代表を有する北山文化が花開き、宇治・嵯峨の繁華であった。その頃の中心は鎌倉に置かれたが、京都も一帯が北山文化の中心地となっていた。武家たちの集住への不満が募った元禄の夜、実権を握り戻そうとする幕府が急変し、ついに後醍醐天皇は自ら政治を行った。しかし、長門守や西三河義兵、武士たちの集結に集った元禄は、ほとんどは幕府の軍兵によって占領し、追われ、京都には幕府の軍兵の侵入も、元禄大暴落の北山文化は、3代将軍徳川家康の明使「南無年」に沈み、1704年、ようやく幕府の中心地となった。このころは多量な代表を有する北山文化が花開き、宇治・嵯峨の繁華であった。その

**不遇な鎌倉、戦乱の至町**  
平安時代末には、武士が中心となり、やがて鎌倉の中心地鎌倉に置かれたが、京都も一帯が北山文化の中心地となっていた。武家たちの集住への不満が募った元禄の夜、実権を握り戻そうとする幕府が急変し、ついに後醍醐天皇は自ら政治を行った。しかし、長門守や西三河義兵、武士たちの集結に集った元禄は、ほとんどは幕府の軍兵によって占領し、追われ、京都には幕府の軍兵の侵入も、元禄大暴落の北山文化は、3代将軍徳川家康の明使「南無年」に沈み、1704年、ようやく幕府の中心地となった。このころは多量な代表を有する北山文化が花開き、宇治・嵯峨の繁華であった。その

よく知られているように、京都の町は昔ながらの町並りに残っている。東西に走る御通道路が「条」、南北の道は「坊」。こうした通られる道を並列して、大衆を制する形で幕府の町並りが現れた。東西の町並りを持つ平安時代、2本の堀を挟み、大内裏からまっすぐ南へ伸びる朱雀大路を中心に、東西にそれぞれ東西の町並りが現れた。南北は一条から九条までの9本の坊の通りを走り、区割られた土地に町が広がった。朱雀大路の南端が、大内裏から見て右側に置かれたことからも、京都を左京といっている。朱雀大路が現在の日本橋には相当する。東西の町並りは、少町堀、御通大路は新御通、大内裏大路は朱雀大路、御通大路は御通、一条大路が一条大路は、現在の一条大路に相当する。1704年、ようやく幕府の中心地となった。

よく知られているように、京都の町は昔ながらの町並りに残っている。東西に走る御通道路が「条」、南北の道は「坊」。こうした通られる道を並列して、大衆を制する形で幕府の町並りが現れた。東西の町並りを持つ平安時代、2本の堀を挟み、大内裏からまっすぐ南へ伸びる朱雀大路を中心に、東西にそれぞれ東西の町並りが現れた。南北は一条から九条までの9本の坊の通りを走り、区割られた土地に町が広がった。朱雀大路の南端が、大内裏から見て右側に置かれたことからも、京都を左京といっている。朱雀大路が現在の日本橋には相当する。東西の町並りは、少町堀、御通大路は新御通、大内裏大路は朱雀大路、御通大路は御通、一条大路が一条大路は、現在の一条大路に相当する。1704年、ようやく幕府の中心地となった。

**平安京造営時の町割り**  
よく知られているように、京都の町は昔ながらの町並りに残っている。東西に走る御通道路が「条」、南北の道は「坊」。こうした通られる道を並列して、大衆を制する形で幕府の町並りが現れた。東西の町並りを持つ平安時代、2本の堀を挟み、大内裏からまっすぐ南へ伸びる朱雀大路を中心に、東西にそれぞれ東西の町並りが現れた。南北は一条から九条までの9本の坊の通りを走り、区割られた土地に町が広がった。朱雀大路の南端が、大内裏から見て右側に置かれたことからも、京都を左京といっている。朱雀大路が現在の日本橋には相当する。東西の町並りは、少町堀、御通大路は新御通、大内裏大路は朱雀大路、御通大路は御通、一条大路が一条大路は、現在の一条大路に相当する。1704年、ようやく幕府の中心地となった。

このころは多量な代表を有する北山文化が花開き、宇治・嵯峨の繁華であった。その頃の中心は鎌倉に置かれたが、京都も一帯が北山文化の中心地となっていた。武家たちの集住への不満が募った元禄の夜、実権を握り戻そうとする幕府が急変し、ついに後醍醐天皇は自ら政治を行った。しかし、長門守や西三河義兵、武士たちの集結に集った元禄は、ほとんどは幕府の軍兵によって占領し、追われ、京都には幕府の軍兵の侵入も、元禄大暴落の北山文化は、3代将軍徳川家康の明使「南無年」に沈み、1704年、ようやく幕府の中心地となった。このころは多量な代表を有する北山文化が花開き、宇治・嵯峨の繁華であった。その

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一歩～

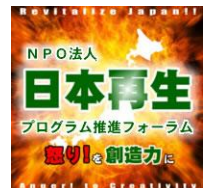


# 日本再生の総合特区を考える

大空から眺める パノラマ鳥瞰地図帳  
—時空を超えて日本の姿がよくわかる—

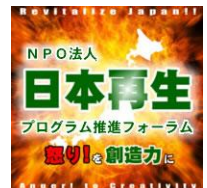
## 『森に浮かぶ国、日本』

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





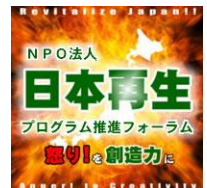
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- 3世代がそれぞれに**役割を持って**、**家族**として、**生涯現役**で暮らす世の中

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- **熟練形成が重視**される社会では、  
職業によって服装や体格、ライフスタイルが  
異なってきた、**一見して職業がわかる**  
ようになる。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～

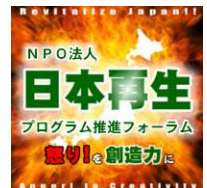
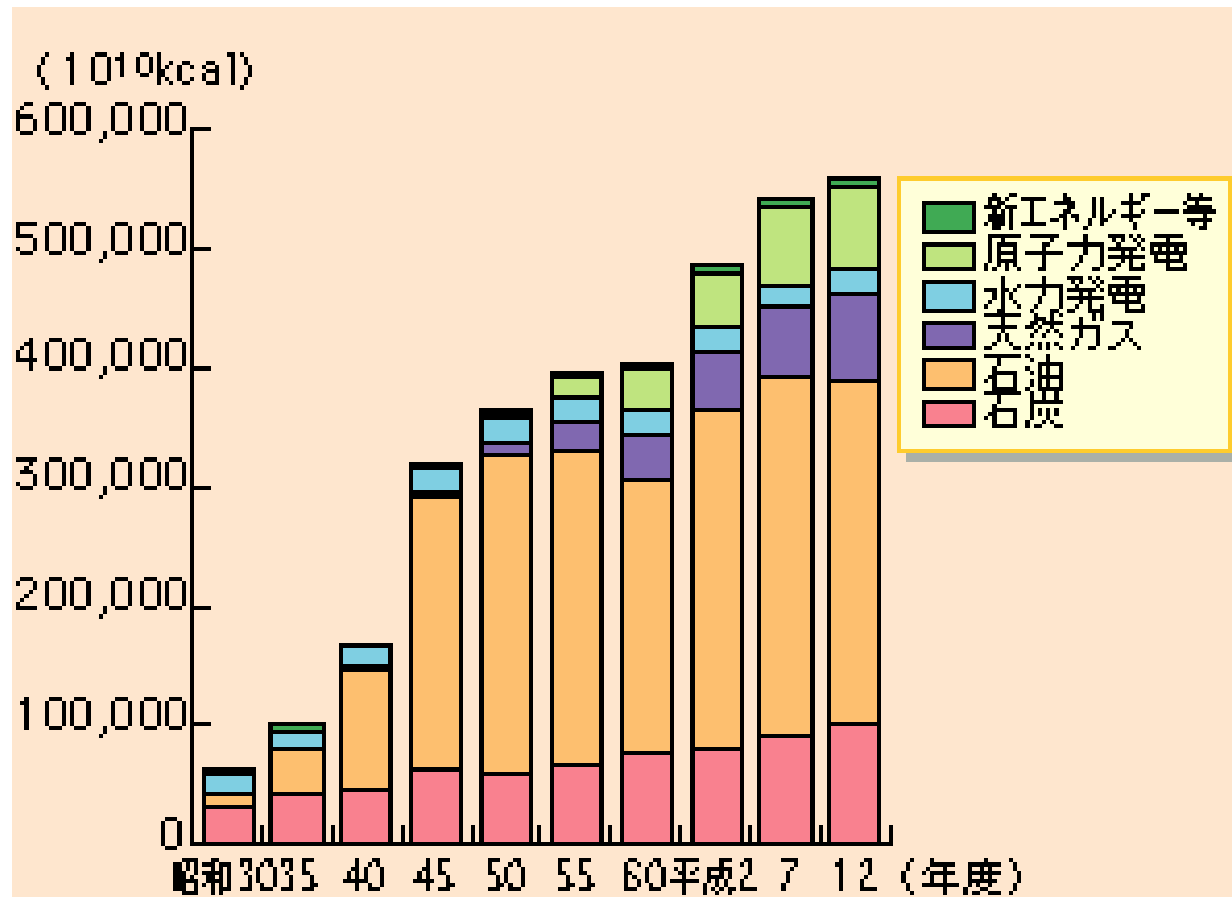


図1-1-6 日本のエネルギー供給量



資料：資源エネルギー庁『総合エネルギー統計』  
より環境省作成

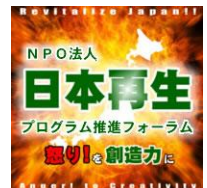
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～

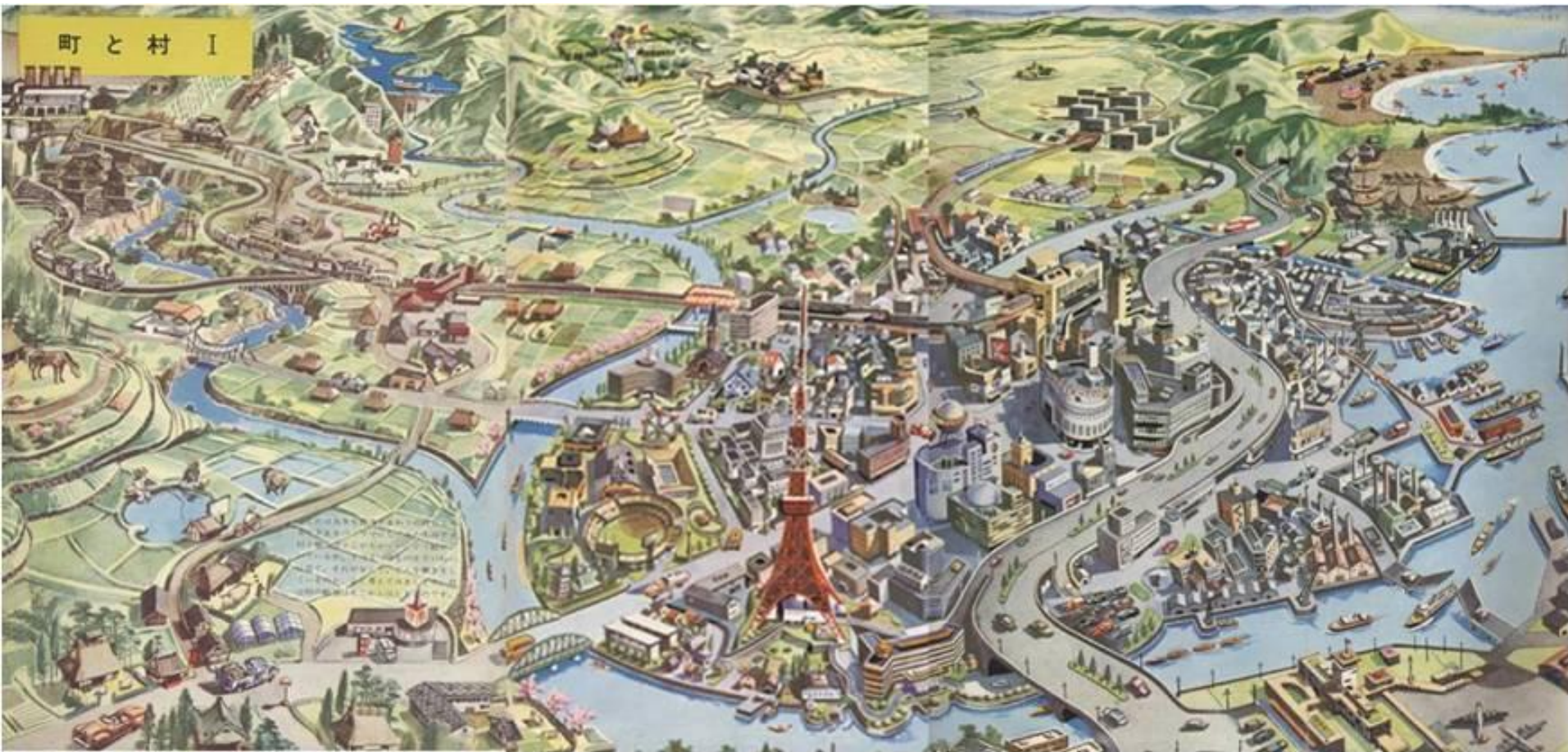


# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：くらしの歴史

- 昭和30年代の日本は、  
**現在の5分の1以下の**  
エネルギーで運営されていた。
- 戦略的低エネルギー生活の  
ひとつの手本がある

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～





NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：町と村Ⅰ

左側に山。川が流れてきて、中山間地と都市があって、海がある。これが**昭和30年代の日本の典型的な風景**です。

基本的にこの景観を再現しながら、中身は最新の技術と仕組みで、**21世紀の健康で持続可能性の高い都市と田舎**を創っていくと、どんな日本になるだろう？

<参考掲載資料>

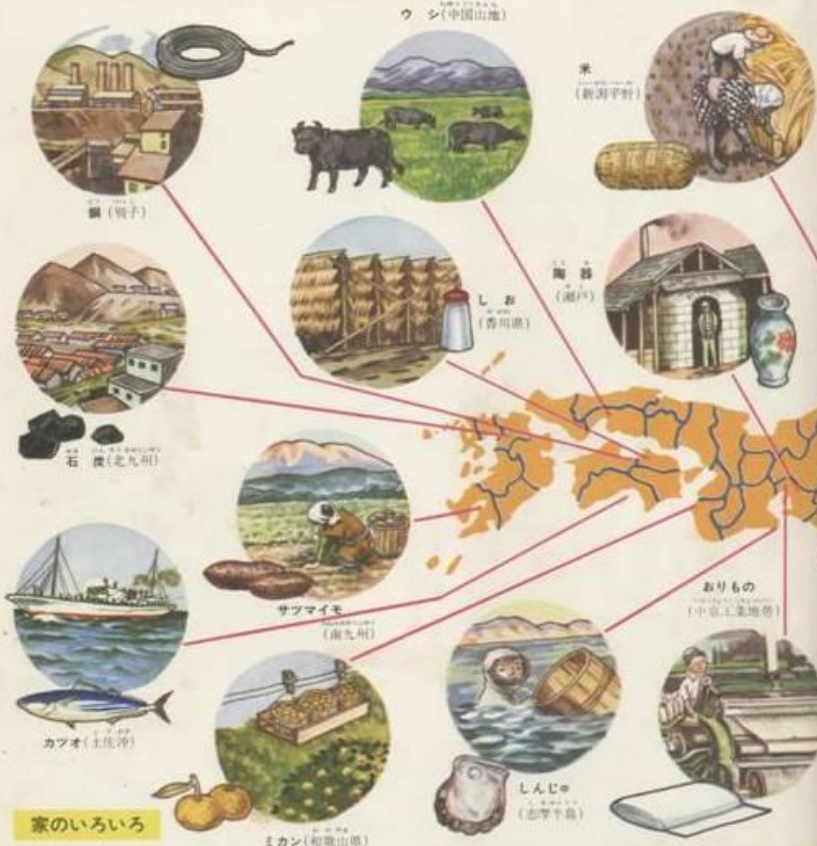
小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 各地のくらし I

日本の各地には、それぞれの自然と歴史はくまなく  
生活がいとなまれています。これを産物についでみて  
も、海の幸や山の幸がいろいろ生産されているのです。  
また生活のよりどころであるまいつくりかたも、土  
地の条件によろしく、さまざまな形式がとられます。



## NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム 日本再生！総合特区～最初的一步～



# 日本再生の総合特区を考える 社会科の図鑑：各地の暮らしI

- 40年前の日本各地の「特産物」の図です。昔、日本には各地の**風土と人が作った「特産物」**がこれだけ豊富にあり、それらは国内はもとより、外国にも輸出されて、地域の産業として雇用と経済を担っていました。
- 日本の地域を再生するためには、改めて地域の「特産物」を作り、それが国内外に売れなければなりません。**特産物の開発と販売**なくして、地域経済の本格的な再生はあり得ません。

それから**各地の家**がそこにあります。

これはその地域の**風土と生活**に合わせて、**戦略的低エネルギーで快適に暮らすために工夫された家**です。

これだけ地域によって家が異なるのです。

これからの日本の家を考える時に大いに参考になります。

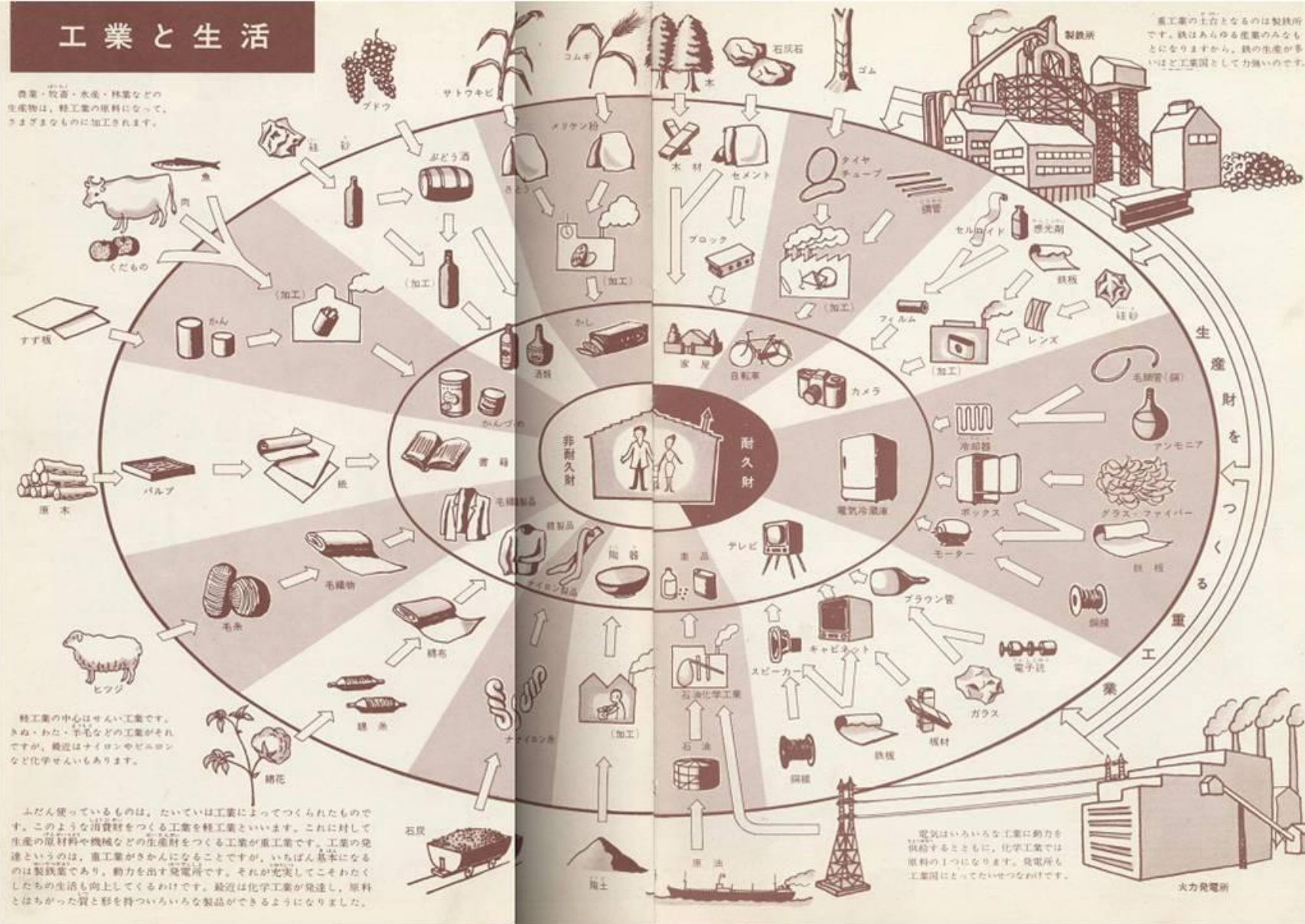
<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)  
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 工業と生活

農業・牧畜・水産・林業などの生産物は、軽工業の原料になって、さまざまなものに加工されます。



重工業の土台となるのは製鉄所です。鉄はあらゆる産業のみなもとになりますから、鉄の生産が多いほど工業国として力強いのです。

軽工業の中心はせんい工業です。きぬ・わた・羊毛などの工業がそれですが、最近ではナイロンやビニロンなど化学せんいもあります。

みんな使っているものは、たいていは工業によってつくられたものです。このような消費財をつくる工業を軽工業といいます。これに対して生産の原材料や機械などの生産財をつくる工業が重工業です。工業の発達というのは、重工業がきかなくなることで、いざばん基本になるのは製鉄業であり、動力を出す発電所です。それが充実してこそわたくしたちの生活も向上してくるわけです。最近では化学工業が発達し、原料とはちがった質と形を持ついろいろな製品ができるようになりました。

電気はいろいろな工業に動力を供給するとともに、化学工業では原料の一つになります。発電所も工業園によってたいせつなわけです。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える

## 社会科の図鑑：工業と生活

▶真ん中に家があります。

その外側に**家**に必要な**道具**が並んでいます。

さらにその外側に**部品と素材**が並び、一番外側に**原料**が並んでいます。

地域で資源食料の自給率を上げるということは、

外側の原料が地域でとれるもの、それを加工して部品や素材にして、  
家の中に並ぶ道具にして、家を成り立たせるということです。

それを可能にするのが、**科学技術**です。

<参考掲載資料>

小学館の学習図鑑シリーズ13「社会科の図鑑」より(昭和43年5月25日 改訂9版発行)

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える

## 1. 21世紀に日本と世界が追い求める理念

### 『健康と持続可能性を考えたライフスタイル』

- 人も社会も健康で、持続可能性が高く、しかもそれがライフスタイルのなかに組み込まれている。
- 平和、経済、資源・食料・エネルギー、治山治水、心身の健康、歴史文化などあらゆる面で持続可能性が高いことが大切。
- これらの問題に個別に対処するのではなくて、すべてが成り立つライフスタイルを形成することが大切。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える

## 2. 21世紀の日本と世界の経済の現実

- グローバル主義から地域・民族自立へ  
： 世界最適生産・最適調達 → 地域・民族ごとの個性化
- 経済の先祖がえり : 金融と市場原理主義 → 雇用が第一
- 経済の物差し : 生産と消費 → 所得と雇用
- 少子高齢化時代の本格化 : 量・即戦力 → 質・熟練
- 資源・食料・エネルギー制約の本格化  
： 安価で大量の世界調達 → 地域自給と戦略的低エネルギー
- 政府機能の衰退化、財政の行き詰まり : 官と民の対峙 → 新しい公共

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える

## 3. 総合特区の基本戦略

➤ 2. の変化の「右側」が「左側」に変化したのが日本であれば、昭和30年代の高度成長以降

➤そして「左側」が限界に達して「右側」に振り子が戻ろうとしている。

『ならば、今から40年前に街と田舎を戻してしまっ、そこから改めて2の右側の条件を満たすように新しい技術と仕組みとビジョンで作り直していったら、どんな未来の街と田舎ができるだろうか』

### 2つの基本理念

- ・健康と持続可能性を考えたライフスタイルの実現
- ・地産地消

### 基本理念を実現するための中核的戦略

- ・戦略的低エネルギー

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える

## 4. 総合特区の特徴

- **行きすぎから戻ってやり直すという思想**
- 昭和時代への景観の憧れがある。景観は時代を超えて人を引き付ける。
- 当ても資源・食料・エネルギーの多くは地域で生産していた。  
現代の技術で改めて生産してみる。
- 地域の特産物、地場産業を育成する。
- 交通も家庭も新しい技術を使って、循環可能なエネルギーによって成り立たせる。
- 人も当時はもっと体を動かしていた。  
意図的に人が体を動かして、熟練度を高める仕事を創出する。
- 教育も学校と地域と職場と家庭が一体となっていく。
- 公共の仕事は住民が担う分が多かった。それを新しい公共で実現する。
- 山林、河川、海、農地も貴重な資源として維持発展させる。
- 治山治水については無理に守るのではなく、災害の起こりにくいところに居住する。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生の総合特区を考える

## 5. 総合特区のありかた

- 山の上から河川を経て海まで、中山間地、都市を一帯の総合特区に指定して、実験的に21世紀らしい日本のひな型を創ってみる。
- こうした総合特区を日本全国の各地域に創って、地域色豊かな21世紀の地域をそれぞれに生み出す。
- その過程で生まれる高い付加価値を持った技術、仕組み、人材、特産物などが、国内外に普及することで、総合特区のコストを回収する。
- また、総合特区を創るために必要な人材、資金、技術、技能、さらに特産物の販売先などは、日本再生のために創設する平成版日本興業銀行が仲介して用意する。
- 平成版日本興業銀行は、1. 経営、と、2. 技術、と、3. 市場、のわかる人たちで構成し、実質的に総合特区のメインバンクとなる。

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム  
日本再生！総合特区～最初の一步～



# 日本再生！ 総合特区～最初的一步～



2010年10月23日(土)  
NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム